

いつも当社システムをご利用いただきありがとうございます。
今月分の請求書をご査収の程よろしく願い申し上げます。

いつも大変お世話になりありがとうございます。

今年は雨の日が多いですね。マンションの植木に毎日水やりをしてくださるご近所さんに「昨年は梅雨明けも早く、今頃はめっちゃくちゃ暑かったよ」と言われて、そんなこともすっかり忘れていたことに気づきました。
皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

どこかに行きたい気分は、天候に関わらずやってくるものです。「大阪近辺でこの時期にぴったりな場所はどこ？」と ChatGPT に尋ねると、勝尾寺のアジサイをオススメされました。アジサイの見頃はとっくに過ぎているように思いましたが、雨の中、勝尾寺へ行ってみることにしました。

大阪メトロ御堂筋線が、箕面萱野駅まで延伸した2年前から、いつか終点まで行ってみようと思っていたことがようやく実現しました。まだ新しさの残る駅前から、勝尾寺行きのバスは20分おきに出ているようです。雨にもかかわらず、バス停には外国人観光客の行列ができていました。勝尾寺は関西では割と有名だと思いますが、こんなにも外国の方に人気だとは知りませんでした。

列の最後尾にはスタッフの方が待ち構えていて、行列に並ぶよう案内しながら、支払い方法について説明してくれていました。わたしも勝尾寺に行くのは初めてだったので、素直に案内に従いました。バスの支払いは現金かクレジットカードか交通系ICカードが使えること、それとは別に入場料が500円かかることを教えてもらい、ICカードの残高確認までしてくれました。乗車前にこうして案内しておけば、降車時に料金支払いでもたつくこともなく、外国からのお客様にとっても安心ですし、運転手さんにとってもスムーズに運行できてよい取り組みだと思いました。

バスは駅前から山道を20分ほど登り、勝尾寺に到着しました。バスを待っている間にスマホから入場券を購入しておき、近代的なエントランスでQRコードを読み取って境内へ入りました。

境内では、小さなダルマが道端に、階段に、石垣の隙間に、木の根元に・・・、あちにもこちにも鎮座していて、とてもかわいかったです。このダルマの正体は「六十四卦ダルマみくじ」の容器で、境内に置いて帰る人がいるそうです。おみくじ売り場は行列ができていたのでスルーしてしまいましたが、一つひとつ手作業で絵付けされているため全部顔が違うのだそうです。また、おみくじのQRコードからは各国語の翻訳で意味などを確認できるそうです。いたれりつくせりですね。

これとは別に、勝ちダルマというものもあって、願いや目標を託して授かり、成就したら再び勝尾寺へ持参し、奉納棚に納めるのだそうです。

1300年の歴史を持つ「勝運の寺」は、平安時代に天皇の病を祈祷で治癒させた功績から「王に勝つ寺」として名を馳せたことが縁起の始まりですが、ご利益というよりも、たくさんの小さな赤いダルマが飾られている風景と、自分でおみくじを選んで購入し、境内で思い思いの場所に飾ったり持ち帰ったり、外国から来られた皆さんにとって大阪旅行のよい思い出になることなのでしょう。勝尾寺の人気の秘密がわかったような気がしました。

蒸し暑い日々が続いておりますが、みなさまどうぞご自愛くださいませ。



あちこちにダルマみくじ

ダルマの奥に雨に濡れた咲き残りのアジサイ



奉納棚に納められた勝ちダルマは、自分の弱い心に打ち勝って願いが成就した証。

今月も最後までお読みいただき
ありがとうございました。
来月もよろしく願いいたします。